

日本ファンドレイジング協会は、日本社会における寄付文化の革新を目指し、2009年2月に全国580人の設立発起人とともに発足した。設立から最初の5年間は、まず、「基本インフラ整備」を充足する、日本で初めてとなる10の取り組みを実現した。

- ① ファンドレイジングジャーナル「Fundraising」発刊（2009）
- ② 寄付白書の発行（2011-）
- ③ ファンドレイジング大会「ファンドレイジング・日本」開催（2010-）
- ④ ファンドレイジング大賞発表（2010-）
- ⑤ 「寄付者の権利宣言2010」発表（2010）
- ⑥ International Summit on Fundraising への日本代表として参加（2010）
- ⑦ 「寄付の教室」開始（2010-）
- ⑧ 「ファンドレイジング行動基準」策定（2011）
- ⑨ 日本版 Planned Giving（寄付信託）の税制改正（2011）
- ⑩ 「認定ファンドレイザー」[◎] 資格認定制度開始（2012-）

設立6年目を迎える今年度は、設立当初から掲げている『2020年「善意の資金循環」10兆円時代の実現へ』向けて、「社会のために、何か役に立ちたい」と考える人を「枠」を超えて繋ぎ、次々と資金循環を生み出す「社会を動かす」ステージの初年度と位置づけ、従来の取り組みの強化・継続や様々な新規チャレンジを行った。主なものは次のとおりである。

第一に、全国各地でノウハウ・知見の交流、寄付教育を促進し、ファンドレイザーが輝く場を創出するために、チャプター制度を発足し、4つ（北海道、東海、関西、九州）のチャプターが立ち上がった。

第二に、社会を変えるプロフェッショナルを生み出す認定ファンドレイザー資格認定制度は、准認定の必修研修修了者が1700名を超え、本制度発足から3年で、50名の認定ファンドレイザーと460名の准認定ファンドレイザーを全国に誕生させることが出来た。また、ファンドレイジングに関する最新事例、世界の潮流などが学べる「ファンドレイジング・日本」は、参加者が過去最多の1200名を超え、世界4大ファンドレイジング大会にまで成長した。

第三に、「寄付教育」は、今年度を今後3年間で日本の寄付教育の流れを変える仕掛けの第一年次と位置付け、「寄付教育」モデルの体系化、テキスト化を実施し、担い手の組織化にも着手した。また、日米の寄付教育の全体像を示し、全国の様々な寄付教育プログラムを一堂に集めて紹介する日本初の「寄付教育オープンシンポジウム」も開催した。さらに寄付啓発の観点から「寄付月間検討会合」を2月に開催し、関係約40団体と寄付月間の実施を決定した。

第四に、新領域への取り組みとして、遺贈寄付を推進するために、日本を代表する遺贈寄付に携わる最前線の専門家とともに、日本で遺贈寄付を促進するための課題や事例について検討を開始した。さらに、寄付だけではなく、投資・融資など「社会的投資」を促進するために、社会的投資市場形成に向けた今後のシナリオと必要な取り組みをまとめた日本初の「設計図(ロードマップ)」の出版や休眠預金の社会的活用法律化に向けた支援などを行った。

1. 組織運営について

1) 会員拡大

法人設立以来初めて、会員数が1,000を超えた。すべての会員について、会員期限切れ1か月前から半年後（会員特典喪失）まで一定のプログラムに基づいて継続依頼を実施していることで、継続率8割程度を維持。さらに、協会会員であることが准認定および認定ファンドレイザーの要件の一つとなっていることや、受験のために受講する各種研修の受講料の減額という特典が歓迎されたことで新規入会者が増加した。

	運営会員(個人)	賛同会員(個人)	賛同会員(団体)	合計
2013年度末	73	848	53	974
2014年度末	80	1002	51	1133

2) 自主財源の拡大にむけて

研修事業（認定ファンドレイザー制度関連研修、その他のセミナーや研究会、講師派遣）からの収入、会員拡大による会費収入、1202人の参加者を得て開催したファンドレイジング大会開催への参加費や協賛金などで、いっそうの自主財源の拡大を図るべく事業内容の充実を図った。

2014年度完了時点で、総収入は約7893万円（内、日本財団助成金：2048万円）を得、日本財団の助成金以外の自主獲得財源として約5800万円（全体の約74%）を得たことで、自主財源比率を高い状態で維持している。

※2013年度は自主財源5300万円（全体の約73%）

2012年度は自主財源5796万円（全体の71%）

2011年度は自主財源3245万円（全体の55%）

2010年度は自主財源1800万円（全体の35%）

2009年度は自主財源1210万円（全体の31%）

3) チャプター制度

今年度は、全国各地でファンドレイジングのノウハウ・知見の交流、寄付教育を促進し、プロフェッショナルファンドレイザーが輝く場を創出するために、チャプター（支部）制度を発足し、北海道、東海、関西、九州の4つのチャプターが立ち上がった。

4) 総会開催

6月13日に2014年度の通常総会を開催。前年度の決算と事業報告、今年度の予算と事業計画、役員を選任などを決議した。総会後には、協会設立5周年記念シンポジウムを開催。5年間の感謝をお伝えするとともに、ゲストから寄付文化醸成に向けての期待やメッセージを頂いた。

5) 理事会開催

今年度は下記の6回の理事会を開催した。

■第21回理事会 2014年5月22日

- ・ 2014年度通常総会議案書の決定
- ・ 理事会への理事の委任状出席について
- ・ 役員報酬規定について
- ・ チャプター規約(案)について
- ・ 新理事の追加と今後の予定について

■第22回理事会 2014年6月13日

- ・ 代表理事・副代表理事の互選

■第23回 2014年6月30日

- ・ 寄付白書無断転載事案についての今後の対応
- ・ チャプター創設について

■第24回 2014年9月9日

- ・ 寄付白書の無断転載問題に関して
- ・ 寄付白書の新発行体制について
- ・ チャプター創設にむけた進捗報告
- ・ 社会貢献テキストについて
- ・ 2014年度下半期に向けて

■第25回 2014年12月19日

- ・ 次年度からの事業展開について
- ・ 日本ファンドレイジング大賞について
- ・ チャプター申請審査
- ・ 寄付月間プロジェクトについて

■第26回 2015年3月24日

- ・ 2015年度暫定事業計画と暫定予算計画について
- ・ 「Theory of Change (セオリーオブチェンジ)」について
- ・ 役員の変更について
- ・ 寄付月間について

6) ボランティア

月例の「JFRAボランティアデー」を中心に全11回のボランティアデーを開催。積極的にボランティア参加を募り、折々、ジャーナルの発送、セミナー、ファンドレイジング大会の開催等で協力

を得た。特に、ファンドレイジング大会では、約50名のボランティアが大会の開催準備と当日の運営に協力した。2015年3月末時点のボランティア登録者数は204名。

7) マスコミ掲載

寄付白書や認定ファンドレイザー制度が定着してきたことで、寄付について折々マスコミ取材を受け、下記が報道された。

※最新のものから

2015年

- 3月31日 朝日小学生新聞 朝日おとうさん新聞「親子で「寄付」を学ぼう」
- 2月22日 日本テレビ 真相報道バンキシャ! 東京マラソンチャリティランナーへのチャレンジ
- 1月4日 朝日新聞グローブ「寄付特集」

2014年

- 12月25日 読売新聞「ファッション界 寄付活動——不用ブランド品、モデル私服▼販売収益を」
- 12月25日 greenz “寄付のマジック”を社会の力に! NPO マネジメントラボ・山元圭太さん×日本ファンドレイジング協会・鶴尾雅隆さんに聞く「幸せを増やす寄付の広げ方」
- 12月22日 日本経済新聞「「タイガーマスク」続々現る 広がる匿名寄付」
- 12月16日 NHK「首都圏ネットワーク」
- 12月15日 日本経済新聞「日経ソーシャルイニシアチブ大賞」
- 10月31日 朝日新聞「競技応援ネットで寄付」
- 8月18日 読売新聞「寄付ネットで簡単」
- 7月17日 中日新聞「休眠預金の社会的事業への活用」
- 7月16日 NHK 首都圏ネットワーク「眠れる資産 古本で寄付」
- 5月20日 日本経済新聞「個人の寄付、なぜ伸びない」
- 5月8日 GOOD DAY「カラフル5 『寄付について』」

2. 主な実施事業について

1) 認定ファンドレイザー制度

認定ファンドレイザー・准認定ファンドレイザーの受験資格を得るためには、それぞれ、必修研修と、一定の研修実績を積むためのポイント付与となっている選択研修を一定数受講する必要がある。そのための研修を下記の通り開催した。なお、地方での開催が望まれる中、チャプターの協力を得ながら地方開催にも注力した。なお、今年度、必修研修内容のさらなる充実に向けて、研修のための教本の改訂を行った。

■必修研修

准認定ファンドレイザー必修研修(2014)	493 人	
2014年4月16日	40	東京都
2014年5月10日	29	大阪府
2014年5月17日	43	東京都
2014年8月27日	40	東京都
2014年9月13日	32	東京都
2014年9月28日	18	大阪府
2014年10月12日	19	愛知県
2014年10月18日	24	佐賀県
2014年10月25日	39	東京都
2014年10月26日	12	宮城県
2015年2月13日	164	東京都
2015年3月13日	33	東京都

認定ファンドレイザー必修研修(2014)	18 人	
2014年9月18日・19日	10	東京都
2014年10月11日・12日	8	東京都

■協会主催による選択研修

開催日	研修: 研修名	開催地
2014年4月15日	法律の視点からファンドレイジングに必要なこと	東京都
2014年4月15日	ファンドレイジング7つのステップ	東京都
2014年4月30日	ファンドレイジング戦略の立て方 5W1H 論	東京都
2014年4月30日	ファンドレイジングで Change を起こすための支援者データベース導入	東京都
2014年5月9日	ファンドレイジング戦略の7つのステップ	大阪府
2014年5月9日	ケースで学ぶファンドレイジング	大阪府
2014年5月12日	ジョイ・オブ・ファンドレイジング	東京都
2014年5月18日	助成金をテコに成長するファンドレイジング	東京都
2014年5月18日	インターネットを活用したファンドレイジング	東京都
2014年5月24日	ケーススタディで学ぶファンドレイジング	東京都
2014年5月24日	ファンドレイジングに活かす寄付税制のポイント	東京都
2014年8月20日	第2回認定・准認定ファンドレイザーマスタークラス	東京都
2014年8月28日	大口寄付を獲得するためのファンドレイジング戦略	東京都
2014年8月28日	魅力的な会員制度を構築するために必要なこと	東京都

2014年9月20日	幅広い支援を得るために必要な社会的価値評価とは	東京都
2014年9月20日	ファンドレイザーが知るべき日本の寄付市場	東京都
2014年9月26日	NPOの経営戦略フレームワークから考えるファンドレイジング	東京都
2014年9月26日	NPOが企業と連携するために必要なこと	東京都
2014年10月19日	ふるさと納税活用・攻略セミナー	佐賀県
2014年10月30日	ファンドレイジングにおいて団体と個人(ファンドレイザー)が果たすべき役割と責任	東京都
2014年10月30日	失敗の事例から学ぶファンドレイジングの本質	佐賀県
2014年11月8日	クラウドファンディング導入&攻略セミナー」	東京都
2014年11月9日	ファンドレイジングの7つのステップ	東京都
2014年11月9日	組織の成長に繋げる助成金の活かし方	東京都
2015年1月18日	寄付集め入門・善意のお金の集め方	滋賀県
2015年1月18日	共感を生む地域内「志金」の調達計画	滋賀県
2015年2月13日	第3回認定・准認定ファンドレイザーマスタークラス	東京都
2015年2月15日	ファンドレイジング・日本2015	東京都
2015年2月22日	FRJ2015 振り返り会	大阪府
2014年2月28日	FRJ2015 報告会	福岡県
2015年3月1日	お金の地産地消白書2014を読む会	三重県
2015年3月1日	バーチャル融資審査委員会	三重県

■他団体による選択研修（添付資料1参照）

必要な選択研修については、協会主催研修以外にも、全国各地で開催される研修のうち、通信教育も含めて、一定の基準を満たす研修については、協会まで申請し、承認を得た後に協会「認定研修」としてポイント付与の対象研修している。そのことで、地方の認定・准認定ファンドレイザーの輩出をはかっている。

■准認定ファンドレイザー試験■

2014年度は准認定ファンドレイザーのための試験を2回、認定ファンドレイザーのための試験を1回行った。また、今年度は、初めて東京以外の都市として、大阪で試験を1回開催した。その結果、今年度、新しく148名の准認定ファンドレイザーと15名の認定ファンドレイザーが生れた。

2014年6月28日第5回准認定ファンドレイザー試験

志願者数	150
受験者数	126
合格者数	85
認定者数	83

2014年12月6日第6回准認定ファンドレイザー試験

志願者数	113
受験者数	98
合格者数	70
認定者数	65

2014年12月6日第3回認定ファンドレイザー試験

志願者数	20
受験者数	20
合格者数	15
認定者数	15

その結果、2015年3月末日時点での資格保有者は下記のとおりとなった。

※本資格制度発足から3年で、合計50名の認定ファンドレイザーと460名の准認定ファンドレイザーが誕生している。

資格保有者数(2015年3月末日現在)	
准認定ファンドレイザー	460
認定ファンドレイザー	50

■認定ファンドレイザー検定委員会の開催

今年度も試験について、事務局外の委員からなる「認定ファンドレイザー検定委員会」において試験問題の作成、採点基準などを討議した。今年度は、5月29日、7月24日、12月15日の3回、委員会を開催した。

委員リストは下記の通り（アイウエオ順）

- 伊藤 美歩氏（アーツ・ブリッジ代表）
- 鵜尾 雅隆氏（日本ファンドレイジング協会 代表理事）
- 鴨崎 貴泰氏（日本ファンドレイジング協会 事務局長）
- 菅 文彦氏（コース・アクション代表）
- 樽本 哲氏（弁護士）
- 徳永 洋子氏（日本ファンドレイジング協会 理事）
- 早瀬 昇氏（日本NPOセンター代表理事）
- 矢崎 芽生氏（公認会計士）

2) ファンドレイジング大会の開催

2015年2月14日と15日に第6回となるファンドレイジング大会「ファンドレイジング・日本2015～日本社会を動かす。～」を開催した。

今回は、CFRE (Certified Fundraising Executives) International 会長兼 CEO エヴァ・アルドリッチ氏、インディアナ大学フィランソロピーセンター教授ドウワイト・バーリングゲーム氏のス

ピーチや、「日本社会を、動かす。」を牽引するトップランナーによるオープニングセッションからスタートし、100名以上の登壇者による54のセッション、認定・准認定ファンドレイザーギャザリング、500名が参加した懇親会などを開催し、大会全体では、過去最多の1202名が参加した。

クロージングセッションでは、第六回日本ファンドレイジング大賞の発表を行った。大賞は、一口館長や擬似私募債、おもちゃ学芸員育成講座などを通じ、寄付文化の醸成に多大な功績を残した「認定 NPO 法人日本グッドトイ委員会」、また、特別賞は、本業を生かし、古本寄付「チャリ本」を展開している「株式会社バリューボックス」に授与した。

■日程：2015年2月14日（土）、2月15日（日）（2月13日はプレイベントを開催）

■場所：国際ファッションセンター（KFCビル）

■参加者数：1202名

■セッション数：54

■開催への支援（助成・協力・協賛）

[助成] 日本財団

公益財団法人トラスト未来フォーラム

【協賛】東京東信用金庫

株式会社 PLUS SOCIAL

一般財団法人ベネッセこども基金

株式会社エースデザイン

特定非営利活動法人 CANPAN センター

gooddo 株式会社

公益財団法人公益推進協会

サイボウズ株式会社

嵯峨野株式会社

株式会社ソニー・デジタルエンタテインメント・サービス

株式会社ソノリテ

ソフトバンクモバイル株式会社

株式会社タクト

株式会社バリューボックス

特定非営利活動法人 NPO サポートセンター

セールスフォース・ドットコム ファンデーション

株式会社ファンドレックス

株式会社フェブ

READYFOR 株式会社

ウィナーズ・アンド・カンパニー株式会社

認定 NPO 法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク

NPO 会計支援センター

久米繊維工業株式会社

合同会社コーズ・アクション
公益財団法人佐賀未来創造基金
社会保険労務士野口紀央スマートオフィス
株式会社シン・ファンドレイジングパートナーズ
一般財団法人ジャパングビング
trivago GmbH
日本経済新聞社
一般財団法人ラン・フォー・ピース協会

【物品協賛】Google 株式会社
ヤフー株式会社

3) ファンドレイジング研究会の開催

この研究会は、会員限定で開催。ワークショップを取り入れながら、NPOの資金調達改善の事例研究やスキルアップ研修を実施している。終了後には、毎回、懇親会を開催し、会員間の交流と会員サービスの充実を図った。

■第45回ファンドレイジング研究会

「NPO/NGO と企業との連携、徹底解説！ ～企業連携ができる団体へ成長するために」

日時：2014年4月9日（水） 18時30分～20時30分

講師：河内山 信一氏（株式会社シン・ファンドレイジングパートナーズ）

■第46回ファンドレイジング研究会

「4000人が参加する米国ファンドレイジング大会の報告会」～SHIFT the way you think about everything～

日時：2014年5月14日（水） 18時30分～20時30分

講師：伊藤 美歩氏（有限会社 アーツブリッジ/NPO 法人 日本ファンドレイジング協会）

寺尾 明人氏（公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟）

平尾 千絵氏（株式会社 ファンドレックス）

船崎 美智子氏（NPO 法人 市民プロデュース）

間辺 初夏氏（公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟）

三島 理恵氏（NPO 法人 日本ファンドレイジング協会）

山崎 美加氏（公益財団法人 日本財団）

■第47回ファンドレイジング研究会

「ファンドレイジング、失敗の本質 ～失敗事例から学ぶ教訓」

日時：2014年6月11日（水） 18時30分～20時30分

講師：黒田 かをり氏（一般財団法人 CSO ネットワーク 事務局長・理事）

鵜尾 雅隆氏（日本ファンドレイジング協会 代表理事）

■第48回ファンドレイジング研究会

「世界と日本のソーシャルファイナンスの最新動向～発展過程と現状、将来の展望まで～」

日時：2014年7月9日（水）18時30分～20時30分

講師：小林 立明氏（日本財団 国際協力グループ国際ネットワークチームリーダー）

鴨崎 貴泰氏（日本ファンドレイジング協会 事務局次長）

■第49回ファンドレイジング研究会

「物事の意味や価値の転換をうながす『まなざしのデザイン』～視点を変えれば関係性が変わる」

日時：2014年9月3日（水）18時30分～20時30分

講師：ハナムラチカヒロ氏（ランドスケープアーティスト／大阪府立大学21世紀科学研究機構 准教授（観光産業戦略研究所／俳優／一般社団法人ブリコラージュ・ファウンデーション 代表理事）

ファシリテーター：樽本哲氏（准認定ファンドレイザー／赤坂シティ法律事務所パートナー弁護士）

■第50回ファンドレイジング研究会

「企業と連携して社会的課題を解決する～ケア・インターナショナル ジャパンによる企業との戦略的パートナーシップ」

日時：2014年11月19日（水）18時30分～20時30分

講師：高木美代子氏（公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン マーケティング部長）

■第51回ファンドレイジング研究会

「日本をソーシャルデザインする～「ほしい未来は、つくろう」宣言」

日時：2014年12月10日（水）18時30分～20時30分

講師：植原 正太郎氏（NPO 法人グリーンズ people 事業部 マネージャー）

4) 季刊誌「ファンドレイジングジャーナル」

今年度は第19号～第21号を発行した。会員には会員特典として配布。希望者には販売をしている。また、これまで紙媒体で発行してきたジャーナルを電子媒体に変更し、「オンライン・ジャーナル」として発行する準備を行った。

5) 「寄付白書2015」発行に向けた調査

「寄付白書」は、隔年発行に変更したため、今年度は、内容の検討と調査を実施した。「寄付白書2015」は、これまで同様寄付者意識の調査に加え、寄付教育の実情に関する調査も実施し、2015年8月末に発行予定である。

6) 寄付教育

今年度は、今後3年間で日本の寄付教育の流れを変える仕掛けの第一年次と位置付け、「寄付教育」

のモデルの体系化、テキスト化を実施し、担い手の組織化にも着手した。

また、「寄付教育調査報告書」、『社会に貢献する』等の書籍、「寄付の教室」プログラム・教材（ビデオ、プリント）、ファシリテーターズマニュアル、など各種制作物を完成させ、指導者育成ステージへの準備を整えた。また、寄付教育オープンシンポジウム 2015 や「寄付の教室」などの機会を活かし、指導者養成に向けたネットワーク作りを行った。

■ 寄付の教室

子どもたちが寄付について学ぶ「寄付の教室」を各地からの要請に応じて以下のとおり開催した。2010年に開始してから、累計84教室2671人に対して「寄付の教室」を行った。

2014年

- 6月15日 私立福山暁の星女子中学・高等学校 室内管弦楽部（中学1年～高校2年）
50名（1クラス50名）
- 8月 1日 福岡県京都郡（イベント・夏休み特別事業）（小学校3～6年）30名
- 9月18日 福岡県立若松高等学校（高校1年）160名（4クラス160名）
- 10月18日 世田谷区子どもトラストセミナー（小学校3年～中学3年）15名
- 12月 8日 私立椛山女学園大学付属小学校（小学校5～6年生）118名（4クラス118名）

2015年

- 1月17日 福岡県私立折尾愛真高等学校（健康福祉コース1年生）26名
- 1月23日 北九州市立鞆ヶ谷小学校（小学校4年生）49名（2クラス49名）

■カリキュラム、ツールキット、マニュアルなどの制作

「寄付の教室」を構成するカリキュラム、教材（ツールキット）、担い手マニュアルなどを整備作成するため、フィランソロピー教育、社会貢献教育のそれぞれの分野の第一線で活躍する実務者を招集し寄付教育研究会を立ち上げ（2014年7月25日）、全5回実施した。

同研究会では、子どものための金融教育および社会貢献教育などを行っている現場へのヒアリングを実施した。これら調査から得られた知見や、同研究会での議論を踏まえ「寄付の教室」カリキュラムおよび教材の改善などを行った。成果物として、「寄付の教室 ファシリテーターズマニュアル」、寄付の教室ビデオ、寄付の教室教材（ワークシート、スライドなど）、寄付教育調査報告書（16事例）」を制作し、寄付教育指導者育成のステージの準備を整えた。

寄付教育研究会委員リストは下記の通り（アイウエオ順）

- 鵜尾雅隆氏（日本ファンドレイジング協会代表理事）
- 大石俊輔氏（日本ファンドレイジング協会プログラム・ディレクター）
- 鴨崎貴泰氏（日本ファンドレイジング協会事務局長）
- 遠山昌子氏（一般社団法人生き方のデザイン研究所）
- 徳永洋子氏（日本ファンドレイジング協会理事）
- 濱崎祐一氏（ソニー生命保険株式会社）

八木亜紀子氏 (DEAR 開発教育協会)

■「社会貢献テキスト」の出版

社会貢献をしたい7割の人と実際に社会貢献を行う人4割のギャップを解消するための日本初の書籍『社会に貢献する』を出版した。

本書は、読んだ人が、社会参加・貢献のアクションを起こすのに役立つ内容を掲載し、中学校2年生をメインターゲットと捉え、教科書の副読本として中学校教員が本書を使って子どもたちに考えさせる内容の授業が展開できるワークシートなどを盛り込んだ内容とした。

社会貢献テキスト『社会に貢献する』出版編集チーム (アイウエオ順)

生駒浩平氏 (サイ株式会社アートディレクター)

鵜尾雅隆氏 (日本ファンドレイジング協会代表理事)

大石俊輔氏 (日本ファンドレイジング協会プログラム・ディレクター)

鴨崎貴泰氏 (日本ファンドレイジング協会事務局長)

坂之上洋子氏 (経営ストラテジスト・作家)

平田雄一郎氏 (サイ株式会社代表取締役社長)

福田優美氏 (フリーライター)

■教育プログラム担い手の育成研修会の開催 (回数：5回／対象：認定・准認定ファンドレイザー、教員など)

「寄付の教室」へのオブザーバー参加を通じて、今後の担い手の育成を視野に入れた実地研修を5回行った。各実地研修後は、最適な寄付教育モデルを創るための意見交換を行う場を毎回設定して行った。

①日時：2014年8月1日(金) 10:00~15:00

場所：福岡県京都郡みやこ町いこいの里

主催者：社会福祉法人みやこ町社会福祉協議会

②日時：2014年9月18日(木) 10:00~15:30

場所：福岡県立若松高等学校

主催者：一般社団法人生き方のデザイン研究所

③日時：2014年10月18日(土) 13:30~15:30

場所：世田谷ものづくり学校

主催者：コモンズ投信株式会社

④日時：2014年12月8日(月) 8:45~15:05

場所：栢山女学園大学付属小学校

主催者：公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団

⑤日時：2015年1月17日（土）9:30～11:30

場所：私立折尾愛真高等学校

主催者：一般社団法人生き方のデザイン研究所

■「寄付教育オープンセミナー」の開催

寄付教育への認識および寄付教育の担い手の育成を広めるために、2つのイベントを企画実施した。

①寄付教育オープンシンポジウム 2015

本シンポジウムでは、日米の寄付教育の全体像を示し、全国の様々な寄付教育プログラムを一堂に集め紹介する日本で初めての場として、様々な寄付教育プログラムが全国の教育現場で取り入れられるように紹介することを意図して実施した。来年度以降も継続して開催する予定。

日時：2014年2月14日（土） 17:00～18:50

場所：第一ホテル両国（KFCビル）

参加者：300名

助成：公益財団法人日本財団

登壇者：（アイウエオ順）

ドゥワイト・バーリングゲーム氏（インディアナ大学フィランソロピーセンター教授）

鶴尾雅隆氏（日本ファンドレイジング協会 代表理事）

大石俊輔氏（日本ファンドレイジング協会 寄付市場形成事業プログラムディレクター）

木村真樹氏（公益財団法人あいちコミュニティ財団 代表理事、コミュニティ・ユース・バンク momo 代表理事）

佐藤弘康氏（あしなが育英会 心塾課 課長補佐（あしなが学生募金首都圏ブロック担当））

牧野郁子氏（社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会）

宮本栄氏（公益社団法人日本フィランソロピー協会 事業部マネージャー）

毛受芳高氏（一般社団法人アスバシ教育基金 代表理事）

横江寛治氏（公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団 総務部・営業推進部）

②「ジョイ・オブ・ファンドレイジング ―世界的ベストセラー「ソウル・オブ・マネー」の著者が語る人々を幸せにするファンドレイジング―」

本セミナーでは、「お金と人間の関係」のパラダイムを転換させ、世界の多くの人に影響を与えてきた「ソウル・オブ・マネー」の著者リン・トゥイスト氏と、『一人ひとりが、「何かしてみよう」という小さなスイッチを入れれば、必ず、日本社会の未来が拓ける』というビジョンを掲げ、長期投資により企業の持続的な価値創出を支える事業を行ってきたコモンズ投信株式会社の会長であり、当協会の理事でもある洪澤健氏をゲストに迎え、参加者との対話〈ダイアログ〉も交えながら、「お金と人間の関係」、そして「人々を幸せにする寄付集め」について理解を深め

た。

日時：2014年5月12日（月）18：30～20：30

場所：JPタワー4F ホール3

参加者：100名

助成：公益財団法人日本財団

登壇者：（アイウエオ順）

洪澤 健 氏（コモンズ投信株式会社 取締役会長／日本ファンドレイジング協会 理事）

リン・トウイスト 氏（パチャママ・アライアンス 共同創設者）

7) 寄付月間

東日本大震災において8割弱の日本人が寄付をするなどの寄付に対する社会的関心の高まりや平成26年経済財政諮問会議「骨太の方針」において「寄付の促進」が明記されたことなどを受け、「ボランティア週間」同様に寄付を推奨する月間の制定への期待が関係各方面から寄せられた。平成27年2月に公益法人、NPO、企業、行政、国際機関、メディアなどの代表者が集まり検討会合を開催（於国連大学）した結果、各界が協力し、全国的なムーブメントとして寄付を促進する期間を設定することとなり、12月を寄付月間とすることと、本件を推進する「寄付月間」推進委員会を発足することが決まった。

寄付月間検討会合参加団体

【民間非営利側】

認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
社会福祉法人 中央共同募金 公益財団法人 公益法人協会
公益財団法人 助成財団センター 一般社団法人 全国コミュニティ財団協会
公益財団法人 パブリックリソース財団 あしなが育英会 日本赤十字
特定非営利活動法人 シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 NPOの未来をつくる会
一般財団法人 ジャパン・ギビング 特定非営利活動法人 CANPANセンター
特定非営利活動法人 NPOサポートセンター 特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター
認定特定非営利活動法人 NPO会計税務専門家ネットワーク
公益財団法人 さわやか福祉財団 特定非営利活動法人 日本ファンドレイジング協会

【経済界側】

株式会社 電通 ヤフー 株式会社 ソフトバンク株式会社
gooddo 株式会社 コモンズ投信株式会社

【行政・国際機関側】

内閣府公益法人担当部局（公益法人行政担当室） 内閣府政策統括官（経済社会システム担当）
国際連合開発計画（UNDP）

【メディア】

株式会社 日本経済新聞社 株式会社 朝日新聞社

8) 遺贈寄付の推進

40 歳以上の日本人の約 24%が人生の集大成として資産の一部を遺贈として寄付してもいいと考えているが、適切なサポートが不足しているために、十分に進んでいない。

したがって、今年度は、日本を代表する遺贈寄付に携わる最前線の専門家（弁護士、税理士、信託銀行、公証人、NPO など）とともに、遺贈寄付推進会議を発足し、日本で遺贈寄付を促進するための課題や事例について検討を重ねた。

今後、日本の各方面の専門家や金融機関等と連携して、遺贈寄付促進のための全国的なネットワーク組織の立ち上げや、弁護士、税理士、金融機関関係者等が遺贈寄付について体系的に学ぶことが出来る「社会貢献アドバイザー」研修（クライアントが社会貢献をしたいと相談があった際に適切にアドバイスができるようになる研修）を開催する予定である。

9) 社会的投資の推進

■ 日本初社会的投資市場形成に向けたロードマップ発行

今年度は、寄付だけではなく、投資・融資による善意の資金循環を生み出すために、日本の社会的投資の最前線で挑戦している実務家が集まり、「社会的投資促進フォーラム」を3月に発足。

社会的投資市場形成に向けた今後のシナリオと必要な取り組みをまとめた日本初の「設計図(ロードマップ)」を10月に出版した。

社会的投資促進フォーラム メンバー（アイウエオ順）

伊藤健 氏（慶應義塾大学 政策・メディア研究科 特任助教、NPO 法人 SROI ネットワークジャパン代表理事）

鵜尾雅隆氏（日本ファンドレイジング協会 代表理事／G8 インパクト投資タスクフォース国内諮問委員会副委員長）

鴨崎貴泰氏（日本ファンドレイジング協会 事務局次長）

木村真樹氏（公益財団法人あいちコミュニティ財団 代表理事、コミュニティ・ユース・バンク momo 代表理事）

功能聡子氏（ARUN 合同会社代表）

小林立明氏（日本財団 国際協カグループ国際ネットワークチームリーダー）

徳永洋子氏（日本ファンドレイジング協会 事務局長）

深尾昌峰氏（公益財団法人京都地域創造基金 理事長／経済財政諮問会議 専門委員）

水谷衣里氏（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 副主任研究員）

■ 休眠預金の社会的活用と社会的投資の促進

毎年 800 億円を超える、長い間取引されていない“眠っている”銀行預金（休眠預金）の社会的事業等への活用を実現するために、民間有志で設立した「休眠口座国民会議」に代表理事の鵜尾が参加し、法律化に向けた活動を行った。

また、2013 年 G8 サミット議長国の英国・キャメロン首相の呼びかけのもと、インパクト投資をグローバルに推進することを目的として創設された「G8 インパクト投資タスクフォース」の国内諮問委員会副委員長に代表理事の鵜尾が就任し、日本国内における社会的投資の促進に必要な施策等を検討

した。

10) 講師派遣

今年度、下記の講師派遣を行った。

日程	講演内容
2014/5/20(火)	ファンドレイジング研究会 in あいち
2014/5/27(火)	「比較文化学1」
2014/6/22(日)	「とうしんプロボノプロジェクト2014」キックオフセミナー
2014/6/26(木)	基礎的研修会における寄附集め入門セミナー
2014/7/4(金)	「つながるまち」講演会～ファンドレイジングをはじめよう!～
2014/7/4(金)	「民による公益の増進」のためのラウンドテーブル
2014/7/25(金)	寄附促進に向けた環境整備等に関する勉強会
2014/10/4(土)	第24回市民活動支援講座 組織の血液「活動資金」の使いこなし方
2014/10/15(水)	基礎的研修会における寄附集め入門セミナー
2014/10/20(月)	社団・財団法人向け 資産基盤拡充セミナー
2014/10/24(金)	復興支援の担い手の基礎的能力強化事業 NPO等寄附募集支援 寄付募集セミナー
2014/10/25(土)	活動お役立ち専門相談(NPO・市民活動団体のためのお金の集め方・使い方講座)
2014/10/28(火)	即戦力「NPOマネジメント」科
2014/10/29(水)	NPO キャリアトーク
2014/11/9(日)	市民活動ステップアップセミナー～資金調達～
2014/11/27(木)	中央共同募金会 企画・推進委員会 事前ヒアリング
2014/12/12(金)	ステップアップ研修会(浦和コミュニティセンター)
2014/12/17(水)	困難を有する子ども・若者の相談業務に携わる民間団体職員研修
2015/1/16(金)	神奈川県「かながわコミュニティカレッジ」委託講座「かながわファンドレイジング講座」
2015/1/18(日)	ファンドレイジングセミナー(淡海ネットワークセンター)
2015/1/20(火)	平成26年度特定非営利活動法人(NPO法人)担当者研修(NPO法人を取り巻く状況と税理士に求められるNPO法人支援)
2015/2/18(水)	ファンドレイジングサミット(NPO法人アイダオ)
2015/2/25(水)	NPO起業・運営合同相談会(特定非営利活動法人ウィズアス)
2015/3/6(金)	NPO等の会員マネジメントに関する研修
2015/3/18(水)	非営利団体のためのファンドレイジングセミナー
2015/3/26(木)	真如苑 有識者意見交換会

添付資料 1 : 他団体による選択研修 一覧

開催日	研修名	開催地
2014年4月7日	salesforceトライアル研修	東京都
2014年4月9日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース	東京都
2014年5月18日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース	大阪府
2014年6月5日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース	兵庫県
2014年6月23日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース	東京都
2014年7月23日	salesforceトライアル研修	東京都
2014年7月25日	最新事例とツールを学ぶ「NPO ためのソーシャルメディア・マーケティング」	東京都
2014年7月28日	組織の成果を高めるための「NPO の組織デザインとマネジメント」	東京都
2014年7月29日	ゼロからはじめる「インターネット広告の基礎知識」	東京都
2014年8月1日	最新事例とツールを学ぶ「NPO ためのソーシャルメディア・マーケティング」	東京都
2014年8月4日	組織の成果を高めるための「NPO の組織デザインとマネジメント」	東京都
2014年8月7日	ミッションを達成するための「デザイン・ブランディング講座」	東京都
2014年8月8日	最新事例とツールを学ぶ「NPO ためのソーシャルメディア・マーケティング」	東京都
2014年8月18日	組織の成果を高めるための「NPO の組織デザインとマネジメント」	東京都
2014年8月21日	これだけは知っておきたい「事務局長 & 担当スタッフのための法務知識」	東京都
2014年8月21日	団体の活動を最大限に PR する「ビジュアルコミュニケーション講座」	東京都
2014年8月25日	salesforce 基本機能・操作を集中的に理解する「NPO の実践速習コース」	東京都
2014年8月25日	「事例研究シリーズ」NPO の組織デザイン事例から学ぶ！	東京都
2014年8月26日	salesforce 基本機能・操作を集中的に理解する「NPO の実践速習コース」	東京都
2014年8月26日	実践者が最新事例を紹介「日本の NPO のコンテンツ・マーケティング」	東京都
2014年8月27日	オンライン寄付調達を学ぼう第二部	東京都
2014年8月27日	NPO の業務改善講座「スタッフが生きいきする組織を目指す」	東京都
2014年8月27日	オンライン寄付調達を学ぼう第一部	東京都
2014年8月29日	最新事例とツールを学ぶ「NPO ためのソーシャルメディア・マーケティング」	東京都
2014年9月1日	「事例研究シリーズ」NPO の組織デザイン事例から学ぶ！	東京都
2014年9月2日	実践者が最新事例を紹介「日本の NPO のコンテンツ・マーケティング」	東京都
2014年9月3日	NPO の業務改善講座「スタッフが生きいきする組織を目指す」	東京都

2014年9月4日	会員1万人を獲得した編集者が教える「思わず読みたくなるメルマガ企画編集術」	東京都
2014年9月9日	実践者が最新事例を紹介「日本のNPOのコンテンツ・マーケティング」	東京都
2014年9月9日	審査員の視点を理解し提案力をアップする「伝わる助成金申請書の作成:ポイント」	東京都
2014年9月11日	新卒・第2新卒スタッフのための集中講座「目標達成し続ける仕事術」	東京都
2014年9月15日	NPOで即戦力になる!「新任NPOスタッフ研修(転職者向け)」	東京都
2014年9月16日	実践者が最新事例を紹介「日本のNPOのコンテンツ・マーケティング」	東京都
2014年9月24日	これだけは知っておきたい「事務局長&担当スタッフのための法務知識」	東京都
2014年9月27日	NPOキャリアカレッジ第3期	東京都
2014年10月27日	Salesforce基本機能・操作を集中的に理解する	東京都
2014年10月28日	Salesforce基本機能・操作を集中的に理解する	東京都
2014年11月4日	NPO実践マネジメント入門講座第1期	東京都
2014年11月10日	NPOの組織デザインとマネジメント講座第2弾	東京都
2014年11月12日	参加者が活動の担い手になる!「人を巻き込むプログラムの作り方」	東京都
2014年11月17日	NPOの組織デザインとマネジメント講座第2弾	東京都
2014年11月17日	今日から始める支援者情報の整理と有効活用	東京都
2014年11月18日	団体ミッションを達成するための「プロジェクトマネジメント・PR・ブランディング講座」	東京都
2014年11月19日	NPO・ソーシャルビジネスの事業を加速させる「事業計画・資金調達戦略実践講座」	東京都
2014年11月20日	これだけは知っておきたい「事務局長・担当スタッフのための労務知識」	東京都
2014年11月21日	salesforceトライアル研修	東京都
2014年11月25日	団体ミッションを達成するための「プロジェクトマネジメント×PR・ブランディング講座」	東京都
2014年11月26日	参加者が活動の担い手になる!「人を巻き込むプログラムの作り方」	東京都
2014年11月26日	旅行業のプロが本音で語る「お客様・支援者から信頼されるプログラム運営術」	東京都
2014年11月27日	これだけは知っておきたい「事務局長・担当スタッフのための労務知識」	東京都
2014年12月1日	NPO・ソーシャルビジネスのためのリーン・スタートアップ実践	東京都
2014年12月2日	自団体で活躍する人材を獲得しよう!「J5W1Hで考えるスタッフ採用戦略実践講座」	東京都
2014年12月4日	プレゼンテーション力を鍛える「魅力的なメッセージづくりと伝え方のコツ」	東京都
2014年12月4日	プランナー視点でみる「好奇心をくすぐるソーシャル×プロモーション」	東京都

2014年12月6日	持続可能なソーシャルチェンジに向けて「マインドフルネス・セルフケア体験」	東京都
2014年12月7日	持続可能なソーシャルチェンジに向けて「マインドフルネス・セルフケア体験」	東京都
2014年12月9日	NPO・ソーシャルビジネスのためのリーン・スタートアップ実践	東京都
2014年12月8日	NPO 法人の手続き・事務を1日で学ぶ「NPO 法人事務力検定試験・対策セミナー」	東京都
2014年12月9日	NPO なら知っておきたい「最新事例に学ぶ CSR コミュニケーション」	東京都
2014年12月10日	会計事務を NPO 経営に活かす！「マネジメントの羅針盤としての決算書」	東京都
2014年12月11日	今日から始める支援者情報の整理と有効活用	東京都
2014年12月15日	NPO・ソーシャルビジネスのためのリーン・スタートアップ実践	東京都
2014年12月18日	salesforce 基本機能・操作を集中的に理解する「NPO 実践速習コース」	東京都
2014年12月19日	salesforce 基本機能・操作を集中的に理解する「NPO 実践速習コース」	東京都
2014年12月22日	NPO・ソーシャルビジネスのためのリーン・スタートアップ実践	東京都
2015年1月14日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース(初級編)	愛知県
2015年1月15日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース(中級編)	愛知県
2015年2月16日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース(初級編)	東京都
2015年2月17日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース(中級編)	東京都
2015年2月21日	NPO キャリアカレッジ第4期	東京都
2015年3月10日	salesforce トライアル研修	東京都

活 動 計 算 書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日

【経常収益】

【受取会費】

運営会員受取会費	1,164,000	
賛同会員受取会費	10,957,693	12,121,693

【受取寄付金】

受取一般寄付金	1,624,500	
寄付教育推進寄付	230,000	1,854,500

【受取助成金等】

受取助成金		20,980,000
-------	--	------------

【事業収益】

事業 収益		43,895,913
-------	--	------------

【その他収益】

受取 利息	4,264	
為替 差益	5,697	
雑 収 益	74,747	84,708

経常収益 計

78,936,814

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業)	8,953,440
補助作業員給与	10,168,819
退職給付費用(事業)	328,050
通 勤 費(事業)	952,693
法定福利費(事業)	2,108,075
人件費計	22,511,077

(その他経費)

期首棚卸高	8,357,660
期末棚卸高	△ 7,353,140
業務委託費(事業)	4,690,236
諸 謝 金	5,027,812
印刷製本費(事業)	6,560,123

会 議 費(事業)	2,398,043
広告宣伝費(事業)	1,332,549
旅費交通費(事業)	4,696,285
通信運搬費(事業)	714,130
備品消耗品費(事業)	263,871
新聞図書費(事業)	84,568
賃 借 料(事業)	9,820,628
減価償却費(事業)	843,926
保 險 料(事業)	19,800
研 修 費	73,870
雑 費(事業)	468,471
その他経費計	<u>37,998,832</u>
事業費 計	

60,509,909

【管理費】

(人件費)

給料 手当	4,147,142
補助作業者給与	2,950,500
退職給付費用	151,950
通 勤 費	382,761
法定福利費	848,425
福利厚生費	85,132
人件費計	<u>8,565,910</u>

(その他経費)

印刷製本費	1,313,051
会 議 費	548,021
旅費交通費	616,300
業務委託費	1,791,064
研修費	80,200
通信運搬費	2,148,966
備品消耗品費	1,418,804
修 繕 費	639,360
水道光熱費	308,329
地代 家賃	3,675,597
賃 借 料	238,636
広告宣伝費	84,000
新聞図書費	4,818
減価償却費	119,753
保 險 料	1,580
諸 会 費	396,822

租税 公課	1,669,506	
支払手数料	3,530,512	
雑 費	46,503	
その他経費計	18,631,822	
管理費 計		27,197,732
経常費用 計		87,707,641
当期経常増減額		△ 8,770,827
【経常外収益】		
受取損害賠償金	1,545,027	
経常外収益 計		1,545,027
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 7,225,800
法人税、住民税及び事業税		70,000
当期正味財産増減額		△ 7,295,800
前期繰越正味財産額		31,645,909
次期繰越正味財産額		24,350,109

財 産 目 録

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

[税込] (単位：円)

全事業所

平成 27 年 3 月 31 日 現
在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	544,142
普通 預金	2,301,474
NPO 法人三菱東京 UFJ	(549,065)
NPO 法人ゆうちょ銀行	(1,606,939)
郵便振替	(145,470)
定期 預金	8,001,594
現金・預金 計	10,847,210

(売上債権)

未 収 金	844,938
研修会受講料	(465,000)
書籍売上分	(351,671)
その他	(28,267)
売上債権 計	844,938

(棚卸資産)

棚卸 資産	7,353,140
ジャーナル	(262,721)
寄付白書	(1,876,275)
Giving Japan	(1,144,000)
ブックレット	(355,230)
寄付教育調査報告書	(417,900)
社会に貢献する	(2,678,000)
その他	(619,014)
棚卸資産 計	7,353,140

(その他流動資産)

前 渡 金	3,488,400
寄付白書 2015 調査費用	(2,991,600)
オンラインジャーナル制作費	(496,800)
その他流動資産 計	3,488,400

流動資産合計

22,533,688

【固定資産】

(有形固定資産)

建物附属設備	509,042
パーティション	(402,119)
電気工事	(106,923)
什器 備品	133,764
コピー機	(1)
電話回線	(26,108)
看板	(107,655)
有形固定資産 計	642,806

(無形固定資産)

ソフトウェア	6,636,766
Bokinchan	(113,050)
認定ファンドレイザーマイページ機能	(1,148,614)
新ソフトウェア開発費	(3,467,790)
寄付教育ビデオ制作費	(409,067)
協会動画	(232,917)
協会ウェブ制作費	(1,265,328)
無形固定資産 計	6,636,766

(投資その他の資産)

保証金	1,868,400
投資その他の資産 計	1,868,400

固定資産合計

9,147,972

資産の部 合計

31,681,660

《負債の部》

【流動負債】

未払金	4,857,223
広告宣伝費	(433,426)
会場費	(4,277,608)
大会謝金・交通費	(146,189)
預り金	1,342,028
従業員源泉	(518,291)
報酬等所源泉	(476,373)
その他	(347,364)
未払消費税	1,132,300

流動負債 計

7,331,551

負債の部 合計

7,331,551

正味財産

24,350,109

貸借対照表

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成 27 年 3 月 31 日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	544,142
普通 預金	2,301,474
定期 預金	8,001,594
現金・預金 計	10,847,210

(売上債権)

未 収 金	844,938
売上債権 計	844,938

(棚卸資産)

棚卸 資産	7,353,140
棚卸資産 計	7,353,140

(その他流動資産)

前 渡 金	3,488,400
その他流動資産 計	3,488,400

流動資産合計

22,553,688

【固定資産】

(有形固定資産)

建物附属設備	509,042
什器 備品	133,764
有形固定資産 計	642,806

(無形固定資産)

ソフトウェア	6,636,766
無形固定資産 計	6,636,766

(投資その他の資産)

保 証 金	1,868,400
投資その他の資産 計	1,868,400

固定資産合計

9,147,972

資産の部 合計

31,681,660

《負債の部》

【流動負債】

未払金	4,857,223	
預り金	1,342,028	
未払消費税	1,132,300	
	<hr/>	
流動負債計		7,331,551
負債の部合計		<hr/> 7,331,551

《正味財産の部》

【正味財産】

前期繰越正味財産額	31,645,909	
当期正味財産増減額	△ 7,295,800	
	<hr/>	
正味財産計		24,350,109
正味財産の部合計		<hr/> 24,350,109
負債・正味財産合計		<hr/> <hr/> 31,681,660

財務諸表の注記

特定非営利活動法人日本ファンレジン協会

平成27年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

(2). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定率法

無形固定資産：定額法

(3). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み経理方式によっています。

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

部門件数が1ページ内の最大を超えました。明細は別紙に出力します。

【使途等が制約された寄付等の内訳】

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

当法人の正味財産は24,342,217円ですが、そのうち230,000円は、下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は24,112,217円です。

[税込] (単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
寄付教育推進寄付	0	230,000	0	230,000	
合計	0	230,000	0	230,000	

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
建物	0	420,773	0	420,773	△ 18,654	402,119
建物附属設備	0	111,883	0	111,883	△ 4,960	106,923
什器 備品	1,401,330	115,344	0	1,516,674	△ 1,382,910	133,764
(無形固定資産)						
ソフトウェア	1,399,000	6,604,508	0	8,003,508	△ 1,366,742	6,636,766
合計	2,800,330	7,252,508	0	10,052,838	△ 2,773,266	7,279,572

【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

[税込] (単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(貸借対照表)		
ソフトウェア	6,636,766	4,616,404
貸借対象表計	6,636,766	4,616,404

2014年度 決算
事業別損益の状況

科目	[税込](単位:円)									
	アパレル/インジグ大金	アパレル/レザー-育成事業	ジャーナル発行	寄付白書	寄付教育	新規市場拡大	その他事業(委託等)	管理	合計	
【受取会費】										
運営会員受取会費								1,164,000	1,164,000	
賛同会員受取会費								10,957,693	10,957,693	
【受取寄付金】										
受取一般寄付金	600,000				230,000			1,024,500	1,624,500	
寄付教育									230,000	
Giving Japan基金									0	
【受取助成金等】										
受取助成金	3,000,000	7,000,000		3,000,000	7,980,000			0	20,980,000	
【事業収益】										
事業収益	20,616,000	11,413,882	125,616	2,202,991	1,088,508	6,828,319	1,620,597		43,895,913	
【その他収益】										
受取利息								4,264	4,264	
為替差益								5,697	5,697	
雑収益								74,747	74,747	
売上計	24,216,000	18,413,882	125,616	5,202,991	9,298,508	6,828,319	1,620,597	13,230,901	78,936,814	
(人件費)										
給料手当	3,207,294	2,264,857	1,215,875		1,938,309	290,370	36,735	4,147,142	13,100,582	
補助作業者給与	1,892,194	5,087,718			3,188,907			2,950,500	13,119,319	
退職給付費用	117,514	82,983	16,608	27,941	71,019	10,639	1,346	151,950	480,000	
通勤費	309,350	451,662	15,643	33,797	130,952	10,021	1,268	382,761	1,335,454	
法定福利費	328,714	962,193	46,457	78,157	659,029	29,780	3,765	848,425	2,956,500	
福利厚生費								85,132	85,132	
人件費計	5,855,066	8,849,413	1,294,583	139,895	5,988,216	340,790	43,114	8,565,910	31,076,987	
(その他経費)										
期首棚卸高			754,111	7,603,549					8,357,660	
期末棚卸高			△ 800,861	△ 6,334,279					△ 7,353,140	
業務委託費	2,890,256	405,580		200,000	32,400	1,162,000		1,791,064	6,481,300	
諸謝金	1,333,290	1,921,900	570,000		1,150,400	52,222			5,027,812	
印刷製本費	1,831,764	841,501	1,532,520		2,354,338			1,313,051	7,873,174	
会議費	184,280	1,982,720		4,861	203,040	23,142		548,021	2,946,064	
広告宣伝費	647,383				609,566	75,600		84,000	1,416,549	
旅費交通費	2,415,665	747,214	67,532	255,594	581,979	410,424	217,877	616,300	5,312,585	
通信運搬費	680,964	33,166						2,148,966	2,863,096	
備品消耗品費	166,084	15,616	51,984		30,187			4,818	1,682,675	
新聞図書費			68,347		16,221			238,636	89,386	
賃借料	8,265,424	501,274			1,053,930			119,753	10,059,264	
減価償却費	8,031	785,330			50,565			1,580	963,679	
保険料	19,800							80,200	21,380	
研修費		3,500	7,805	355,040	70,370			46,503	154,070	
雑費	70,815	29,701			5,110			639,360	639,360	
修繕費								308,329	308,329	
水道光熱費								3,675,597	3,675,597	
地代家賃								396,822	396,822	
諸会費								1,669,506	1,669,506	
租税公課								3,530,512	3,530,512	
支払手数料										
その他経費計	18,513,756	7,049,502	2,251,438	2,084,765	6,158,106	1,723,388	217,877	18,631,822	56,630,654	
合計	24,368,822	15,898,915	3,546,021	2,224,660	12,146,322	2,064,178	260,991	27,197,732	87,707,641	
当期経常増減額	△ 152,822	2,514,967	△ 3,420,405	2,978,331	△ 2,847,814	4,764,141	1,359,606	△ 13,966,831	△ 8,770,827	

監査報告書

2015年5月20日

特定非営利活動法人
日本ファンドレイジング協会
代表理事 船尾雅隆 様

監事 浅野晋
同 脇坂誠也



私たちは、2014年度（2014年4月1日から2015年3月31日まで）の事業報告及び計算書類等（財産目録、貸借対照表及び活動計算書）について監査を行った。

私たちは、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会に出席し、必要と認める場合には質問を行った。また、財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、団体の業務は法令及び定款に基づき適正に処理されているものと認められた。

よって、私たちは、上記の業務報告書及び計算書類等が、特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会の2015年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認める。

